

令和元年度 学校評価アンケート集計結果について

1. 実施

(1) 対象者 教職員(常勤者)、全校生徒及びその保護者

(2) 期間 12月4日(水)～12月9日(月)

(3) 方法

・無記名で実施、ただし、生徒及び保護者については生徒の学年・組を記入。

・マークシートを用い、各項目を次の段階で評価する。

A：よく当てはまる

B：どちらかと言えば当てはまる

C：どちらかと言えば当てはまらない D：まったく当てはまらない

E：わからない(判断できない)

教職員及び生徒はA・B・C・Dの4段階、保護者はA・B・C・Dの4段階の他、Eを加えての評価を実施した。

・マークシート裏面に自由記述を求めた。

(4) 回答数

・今年度 教職員 56 (100%)、生徒 752 (94%)、保護者 726 (91%)

・前年度 教職員 59 (100%)、生徒 777 (94%)、保護者 742 (89%)

2. 考察

評価のひとつの観点として、肯定的評価(A+B)の割合をみる。また前年度との比較のために、Aを100点、Bを70点、Cを40点、Dを10点と点数化して各項目の平均を求める。

(1) 教職員について

A+Bの割合でみると、教職員は25項目中、20項目で80%を超え、うち10項目が90%を超える。全体的に教職員からは高い評価を受けていると言えるが、80%を切るものとして、「4校務分掌のバランス」「9 授業研究・シラバス」「17 体験学習・ボランティア」「21 施設設備」「22 環境美化」の5項目がある。昨年と比べ「4」「9」「17」はダウン、「21」「22」は微減となった。「21」は5割に満たず、最も低い数字である。昨年度80%を下回った「4校務分掌のバランス」はさらに大きくダウンした一方、「15 学校行事・生徒会行事」は大きくアップし80%を上回る結果となった。

前年比でプラスになった項目は6、マイナスになった項目は18である。特にプラスで目立つのは、生徒の活躍が評価されたことによると思われる「15」の+8.1、そして、連携した生徒指導が行われたことを示す「14 生徒指導における密接な連携」の+5.9である。逆にマイナスでは、-6.9の「17 体験学習・ボランティア」、-6.4の「23 職業倫理の高揚」、-5.9の「4校務分掌のバランス」及び「12 進路情報の提供」、-4.8の「3 ニーズに合った教育活動」、-3.8の「7 教育課程の適正運用」、「9」及び「11 3年間を見通す進路指導」と続く。

「21」や「22」の学習環境に関する項目に加え、「4」「23」といった組織としての取り組み、「3」「7」「9」「11」「12」「17」といった本校の指導の中身についての評価が下落したことについては、職員が入れ替わったことが多少影響しているのではないかと考えられる。

最低点となったのは昨年度同様に「21 施設設備」の51.9点である。教室の冷暖房やICT機器に関することや、校舎そのものの老朽化に対する改善の要望と考えられる。

(2) 生徒について

生徒は 13 項目中、「1 入学して良かった」「2 学校の雰囲気が良い」「5 学校行事は充実」「6 先生の熱意」「7 親身になって相談」の 5 項目で A+B の割合が 90%を超える。残り 6 項目が 80%台、2 項目がそれ以下であり、大部分の生徒は学校生活に満足している様子が窺える。ただし、「8 施設設備」についての A+B の割合は 60%台であるが昨年比で+4.1 と、下げ幅が大きかった昨年度からは上昇に転じている。

昨年比では「3 文武両道の実践」が+7.1 と大きく数値を上げた一方、「12 進路情報の提供」は-3.5 とダウンしているのが気付きである。

学年比較では、「1」「2」のような表層的・主観的項目は 1 年生で特に高く評価されているのに対して、上級生では評価が落ち着く傾向がある一方、内容面での具体的評価は上級生で高い評価を得ている項目もある。また全般的に D 評価の比率が高まっており、評価そのものに対するモチベーションがどうであったのか疑問が残る。

自由記述には、冷暖房・体育設備・考査や国際交流などについての記載がある。中には部活動をさせたいのか、勉強をさせたいのかはっきりしないという指摘もあった。

(3) 保護者について

保護者は 18 項目。A+B の割合でみると、「1 入学させて良かった」が 97%を超え、この数字が表すように、保護者にとって満足度の高い学校である。他に 6 項目（「2 教育方針の理解」「4 生徒や保護者のニーズ」「5 教職員の熱意」「11 学校行事」「12 生徒会活動・部活動の充実」「17 保護者・地域からの信頼」）が 90%を超えている。残り 11 項目のうち 7 項目が 80%を超えており、全体的には高い評価が得られている。

「9 悩み相談への対応」「13 ボランティア活動」「15 心身の健康」が 70%程度の数字であるが、この 3 項目については、「E 分からない」の回答が特に多く含まれているため、A+B の数字が低めになる。否定的評価 C+D が 30%を超える「14 施設・設備」については、保護者の評価は良くない。前年比では、-2.3 の「3 目標達成」以外は、昨年と同様の数値である。

次に学年比較でみると、「2 教育方針の理解」「5 教職員の熱意」「9 悩み相談への対応」「10 生徒指導への理解」「12 部活動等の充実」「15 健康管理」等で、学年進行に伴い評価が良くなる傾向が見られる。

自由記述では、1・2 年生での冷房設置の要望が多数ある。「からかい」「いじり」といった本校生徒の懸念についての指摘もあった。